



プロ、上級者のドライバースイング  
肩と腰の捻軸差  
約45度エリア

言葉だけでは伝わらない  
仕組みを伝えられる  
レッスンツール

QPこと関雅史です。レッスンの現場ではどうしても生徒に「確信」を伝えられないことが多いあります。生徒の身体に入り込んで模擬できたら…と思ったケースは数え切れない。そんなもどかしい状況を打破するのが「マトウス®ゴルフ」。専用ウェアを着用し、手首にセンサーを着けてスイングするだけで、上半身の動きが可視化できるというスグレモノです。

専用アプリ上の3Dのスイングアバターに、背骨(スイング軸)、肩と腰のラインとスイングを構成する大切な骨格の動きが可視化できるって素晴らしい。スイングの正しい動作を習得する過程は癖を修正していく違和感との戦い。そんな中で「マトウス®ゴルフ」のデ

一タは正しさの指標とできるワケ。  
さて「マトウス®ゴルフ」で飛距離に悩むアマチュアゴルファーのデータを取りました。結果、肩と腰の捻軸差が明らかに足りない。道にも影響を及ぼしてしまう…それは大変だ！ 飛距離不足に悩むあなた、「マトウス®ゴルフ」導入施設でデータ測定して、まずは捻軸差に注目しましょう！

飛距離に悩む  
アマチュアゴルファー  
**肩と腰の捻軸差  
35度以下**

12/DECEMBER/VOL.127  
BUZZ GOLF  
PICKUP! 07

スイングを簡単可視化！  
「マトウスゴルフ」

# わかつた 飛ばないあなたの 決定的原因！

関QP 雅史 プロ

通常では  
チェックできない  
角度から  
見られる

12月10日に  
川口グリーンゴルフで開催される  
BUZZ GOLFの試打会では、  
QPが飛距離アップレッスンを担当。  
「マトウス®ゴルフ」で  
参加者の皆様の悩みを  
解決します！



マトウス®ゴルフ  
導入施設はこちら